

た小人に当たるのであろう。主君のために報いる働きがまだまだできたであらうに、すべて絶たれてしまった道真の無念の思いが表れているように思われる。

(荒川 美枝子)

484 紋意一百韻 (24) 185句から192句

本文

平仄

185	覆巢憎蔽卵	●	○	○	●	●	○
186	搜穴叱蜮蜾	○	●	●	○	○	○
187	法酷金科結	●	●	○	○	○	●
188	功休石柱鐫	○	○	●	●	○	○
189	悔忠成甲冑	●	○	○	●	●	○
190	悲罰痛戈鋌	○	●	●	○	○	○
191	瓊瓊黃茅屋	●	●	○	○	○	●
192	荒荒碧海孺	○	○	●	●	○	○

※脚韻は下平声「先」韻で、韻字は「蜾・鐫・鋌・孺」である。